

第9回 神代川河川再生計画検討委員会

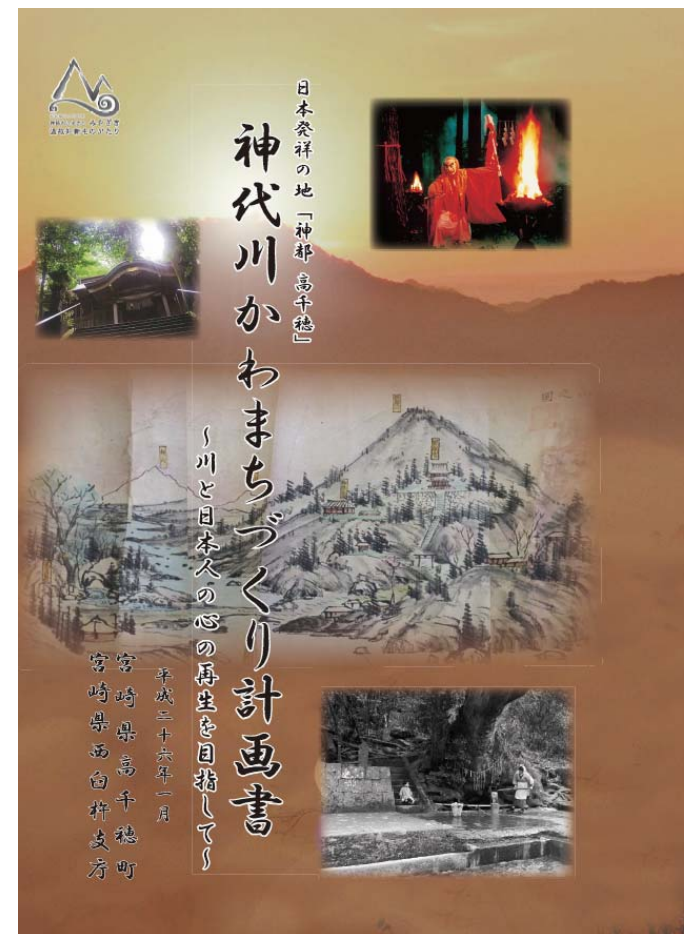
説明資料

1. これまでの経緯について	1
2. 前回検討委員会で出された課題対応状況	4
3. 前回検討委員会からの変更内容の報告	6
4. 水理模型実験の報告（九大）	別紙
5. 今年度実施工事計画の説明	9
6. 起工式の内容確認と今後のスケジュール	13
7. 今後の検討体制について	15

1. これまでの検討内容の確認

①神代川かわまちづくり計画に関わる検討委員会等開催状況

平成 23年度	平成23年11月	第1回 神代川河川再生計画検討委員会
	平成24年1月	第1回 神代川ワークショップ
	平成24年3月	第2回 神代川河川再生計画検討委員会
平成 24年度	平成24年12月	第2回 神代川ワークショップ
	平成24年12月	第1回 神代川河川再生計画検討会(ワーキンググループ)
	平成25年3月	第3回 神代川ワークショップ
平成 25年度	平成25年6月	第4回 神代川ワークショップ
	平成25年7月	第3回 神代川河川再生計画検討委員会
		第2回 神代川河川再生計画検討会(ワーキンググループ)
	平成25年12月	第3回 神代川河川再生計画検討会(ワーキンググループ)
		第4回 神代川河川再生計画検討委員会
平成 26年度	平成26年5月	第1回 神代川かわまちづくり推進協議会
	平成26年7月	第2回 神代川かわまちづくり推進協議会(ワークショップ)
	平成26年9月	第3回 神代川かわまちづくり推進協議会(ワークショップ)
	平成26年10月	第4回 神代川かわまちづくり推進協議会(ワークショップ)
	平成26年11月	第5回 神代川河川再生計画検討委員会
		神都高千穂と神代川かわまちづくりシンポジウム
	平成27年1月	第5回 神代川かわまちづくり推進協議会(ワークショップ)
	平成27年2月	第6回 神代川かわまちづくり推進協議会(ワークショップ)
	平成27年2月	第6回 神代川河川再生計画検討委員会



神代川まちづくり計画書作成(平成26年1月)

「かわまちづくり」支援制度に係る計画登録(平成26年3月)

平成27 年度	平成27年5月	第7回 神代川かわまちづくり推進協議会
	平成27年7月	第8回 神代川かわまちづくり推進協議会(ワークショップ)
	平成27年10月	第9回 神代川かわまちづくり推進協議会(ワークショップ)
	平成27年10月	第7回 神代川河川再生計画検討委員会
	平成27年11月	第10回 神代川かわまちづくり推進協議会(ワークショップ)
	平成27年12月	第8回 神代川河川再生計画検討委員会
	平成28年3月	第11回 神代川かわまちづくり推進協議会(ワークショップ)

1. これまでの検討内容の確認

②神代川かわまちづくり計画に関わる検討委員会等における検討内容（1 / 2）

年度	検討会名	実施日	概要	備考
平成23年度	第1回 神代川河川再生計画検討委員会	平成23年11月22日	<ul style="list-style-type: none"> 河川再生計画の検討概要 これまでの河川再生に向けた行動 神代川周辺の歴史・景観資源の確認 現地視察 今後の進め方について 	
	第1回 神代川ワークショップ	平成24年1月31日	<ul style="list-style-type: none"> 河川再生計画の概要説明 これまでの経緯と事例紹介 昔の神代川を語る これからの神代川を語る 	
	第2回 神代川河川再生計画検討委員会	平成24年3月9日	<ul style="list-style-type: none"> 前回検討会のおさらい 第1回ワークショップ開催報告 小学校アンケート実施報告 重点課題抽出と再生目標（案）の検討 河川再生メニュー（案）の検討 今後の進め方について 	
平成24年度	第2回 神代川ワークショップ	平成24年12月3日	<ul style="list-style-type: none"> 神代川河川再生計画検討委員会状況 神代川周辺の歴史について 班に分かれての討論 	
	第1回 神代川河川再生計画検討会 (ワーキンググループ)	平成24年12月13日～14日	<ul style="list-style-type: none"> 第2回委員会課題の対応 ワークショップ結果の報告 高千穂の歴史と神代川のとの関わりについて講話 高千穂町のまちづくりの報告 まち、みちづくりの進め方の講話 今後の進め方について確認 	
	第3回 神代川ワークショップ	平成25年3月3日	<ul style="list-style-type: none"> 神代川河川再生計画検討委員会状況 天真名井の湧水再現 グループ討議 	
平成25年度	第4回 神代川ワークショップ	平成25年6月15日	<ul style="list-style-type: none"> 河川再生計画の検討中間報告 荒立神社宮司による周辺施設説明 周辺施設の現地調査 意見発表 	
	第3回 神代川河川再生計画検討委員会	平成25年7月11日	<ul style="list-style-type: none"> 第2回委員会及び計画検討会の課題対応 ワークショップ結果の報告 意見交換 	
	第2回 神代川河川再生計画検討会 (ワーキンググループ)	平成25年7月12日	<ul style="list-style-type: none"> かわまちづくり計画について 	
	第3回 神代川河川再生計画検討会 (ワーキンググループ)	平成25年12月19日	<ul style="list-style-type: none"> 前回検討会のおさらい かわまちづくり計画について これまでの課題対応状況 	
	第4回 神代川河川再生計画検討委員会	平成25年12月20日	<ul style="list-style-type: none"> 前回検討会のおさらい かわまちづくり計画について これまでの課題対応状況 	

1. これまでの検討内容の確認

②神代川かわまちづくり計画に関わる検討委員会等における検討内容（2／2）

年度	検討会名	実施日	概要	備考
平成26年度	第1回 神代川かわまちづくり推進協議会	平成26年5月8日	<ul style="list-style-type: none"> 神代川かわまちづくり推進協議会の立ち上げ 神代川かわまちづくり計画等の説明 他地区での事例紹介（桑子先生） 	
	第2回 神代川かわまちづくり推進協議会 （第1回ワークショップ）	平成26年7月24日	<ul style="list-style-type: none"> 神代川かわまちづくり計画全体イメージの理解 ワークショップ名称の決定「神代川かわまちづくり八百万神の会」 	
	第3回 神代川かわまちづくり推進協議会 （第2回ワークショップ）	平成26年9月26日	<ul style="list-style-type: none"> 大まかな河川形状や遊歩道等の整備方針を考える 島谷先生による模型作成の指導 	※地元住民も参加して実施
	第4回 神代川かわまちづくり推進協議会 （第3回ワークショップ）	平成26年10月9日	<ul style="list-style-type: none"> 班別協議結果のすり合わせ 細部のデザインについて考える ワークショップにおける班別の中間取りまとめ 	※地元住民も参加して実施
	第5回 神代川河川再生計画検討委員会	平成26年11月4日	<ul style="list-style-type: none"> ワークショップにおける検討結果（中間）の確認 ワークショップにおける今後の検討内容について 地質調査結果 水源の確保について 今後に向けた方向性の確認 	
	第5回 神代川かわまちづくり推進協議会 （第4回ワークショップ）	平成27年1月19日	<ul style="list-style-type: none"> ワークショップの結果整理 委員会における指摘事項 かわまちづくりメニューの再確認 	
	第6回 神代川かわまちづくり推進協議会 （第5回ワークショップ）	平成27年2月3日	<ul style="list-style-type: none"> 整備イメージの最終確認 維持管理体制の確認 	
	第6回 神代川河川再生計画検討委員会	平成27年2月10日	<ul style="list-style-type: none"> 委員会における指摘事項 ワークショップにおける検討結果の確認 事業の進め方 	
平成27年度	第7回 神代川かわまちづくり推進協議会	平成27年5月8日	<ul style="list-style-type: none"> 景観模型（H26年度成果）の確認 	
	第8回 神代川かわまちづくり推進協議会 （第6回ワークショップ）	平成27年7月16日	<ul style="list-style-type: none"> 景観模型（H27年度九大修正）の確認 細部デザインの方向性の確認 	
	第9回 神代川かわまちづくり推進協議会 （第7回ワークショップ）	平成27年10月7日	<ul style="list-style-type: none"> 景観模型（H27年度九大修正）の確認（中間） 景観模型（1/100）を用いた予備試験の紹介 細部デザインの検討について 	
	第7回 神代川河川再生計画検討委員会	平成27年10月21日	<ul style="list-style-type: none"> ワークショップ成果や景観模型の報告 景観模型を用いた予備試験の紹介及び1/50水理模型実験進捗報告 細部デザイン検討状況報告 	
	第10回 神代川かわまちづくり推進協議会 （第8回ワークショップ）	平成27年11月25日	<ul style="list-style-type: none"> 1/50水理模型実験の中間報告 細部デザイン（護岸、河床、管理用通路）の決定 植栽計画の検討 起工式イベントに関する意見交換 	
	第8回 神代川河川再生計画検討委員会	平成27年12月16日	<ul style="list-style-type: none"> 水理模型実験に基づく流下能力検討結果 細部デザインの決定・検討 	
	第11回 神代川かわまちづくり推進協議会 （第9回ワークショップ）	平成28年3月9日	<ul style="list-style-type: none"> 1/50水理模型実験の結果報告 景観模型の確認 起工式イベント、今後の検討体制に関する意見交換 	

2. 前回検討委員会で出された課題対応状況

①H27.12.16 第8回神代川河川再生計画検討委員会での意見など

第8回委員会での意見・回答

項目	意見・回答
流下能力 検討結果	<ul style="list-style-type: none"> ・児童公園前の坂路を削ると、天真名井への浸水が軽減されると思われる。 ・水理実験での天真名井前の浸水深は50cm程度で流速は20cm/s程度（人は流されない）である。 そのような浸水が発生するのは30年に1度であるため、天真名井前への浸水を前提とした河道計画で良いと考える。 ・現計画では、天真名井前の左岸は既設コンクリート壁の前面に石を積んで右岸の護岸を引く計画であるため、ケヤキの支柱の移設が必要。 ⇒以前委員会に参加してもらった地元の樹木医によると、「支柱とケヤキの接触位置は変えないほうが良い」、 「支柱を変えることによるケヤキへの影響は不明」ということであったため、支柱をそのまま存置させたい。 ・以前は、天真名井前の左岸は石積みではなく、今のコンクリート壁を“はつる”案もあったが。 ⇒水理実験のモデルは、40cm程度前出しして石積みをする案としている。 ⇒河積の関係上、40cmよりも薄い石張りができれば、右岸側への影響も少なくなるのだが。 ・天真名井前は、これからもっと詳細な話しになるため、No.6よりも下流区間で部分拡大モデルを作って検討した方が良い。 ・天真名井前は、歴史的にも地域住民・観光客にも大事な場所であるため、時間をかけて検討しても良い。
護岸・河床	<ul style="list-style-type: none"> ・急激な護岸の平面的な折れは交差波が発生する原因となるため、折れ線が出ないように留意して石を積む必要がある。 ・山附川のように、護岸の勾配は一律にしない方が良い。 ⇒川幅の広いところは勾配を緩くするなど、臨機応変に対応願いたい。 ・みお筋は作らず、落差工を設けてステップ&プールを作ることをイメージしている。高千穂町内を流れる上野川のようなイメージ。 ⇒昔の天真名井前は、上野川に近い感じであった。岩の間に入りたりして遊んでいた。 ・ステップ部（落差部）だけ石を使い、プール部はコンクリートでも目立たない。 ⇒ステップ&プールにすると、上流から流れてくるゴミ等が引っかかり、維持管理が大変になる。 ⇒ペットボトル等は拾った方が良いが、草等は生物の生息環境の創出といった観点から積極的にとらなくても良いと思う。
管理用通路	<ul style="list-style-type: none"> ・土系舗装は、近隣で実績はあるのか？ ⇒高千穂町内で土系舗装を整備した箇所は何箇所かあるが、0～20年経った箇所では、草が生えたり割れたりしている。 管理面を考慮して、土系にするか、コンクリート系にするかの判断が必要と考える。
樹木	<ul style="list-style-type: none"> ・花が咲く樹木も混ぜて植えると思う。蛇行部の鎮守の森はどういう考えか？ ⇒伊勢神宮の五十鈴川は、蛇行する水面の向こう側に緑が茂っているのが特徴であるため、神代川でも蛇行部に森を形成してアイストップとして、五十鈴川の雰囲気を作り出せればと考えている。 ⇒天真名井直下流の橋から上流側を眺める視点は重要であるため、森に一本化せずに検討して欲しい。 ・下流の市街部には紅葉する樹木もあるが、山地部はスギが多い。そのため、紅葉する樹木を植えると季節の変化を楽しめて良いと思う。 ・地元に苗木等の寄付をお願いすると結構集まると思う。・イチョウは自己主張が強い。コナラ、スダチ、シイなども良い。 ・ケヤキの巨木の枝を切って、地元の子どもたちに挿し木をしてもらうイベントをしても面白いと思う。 ・将来巨木として成長する木をあらかじめ決めて配置した方が良い。樹木はもう少し幅広く選定した方が良い。
起工式	<ul style="list-style-type: none"> ・起工式では、景観模型を展示したり、水理実験の映像を流したりして、分かりやすく改修内容を説明した方が良い。 ・シンポジウムを実施して、神代川の歴史や協議会等これまでの経緯を地域住民に知ってもらう機会を設けるという手もある。 ・シンポジウムは、高千穂町が検討中のまちづくり計画と絡めて行うと有意義なシンポになると思う。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・五ヶ瀬川では、流域のかわまちづくり等の関係団体を繋ぐ委員会を設立し、下部組織として3つの部会が月1ペースで話し合っている。部会では、河川利用や維持管理をどうしていくかを考えて、委員会で学識者等からアドバイスをもらって実行している。 ⇒現在の神代川と五ヶ瀬川のかまちづくり推進体制の違いは、委員会の下部組織である協議会からの提案や報告がないことである。 今後は、河川改修というハード整備から利用や管理等のソフトをどうして行くかを話し合うことが大切であるため、五ヶ瀬川のように協議会が自発的にやりたいことを考えて、それに対して委員会が助言するという体制を構築した方が良いと思われる。 ・宮崎県が運営するまちづくり協議会と別途高千穂町が進めているまちづくり委員会との関わり合いをはっきりさせる必要がある。 ⇒町のまちづくり委員会は、町内全体を対象に検討しており、その中の「三田井・岩戸エリア」に神代川は属している。 次年度以降に本格的な検討が始まるため、県の本委員会や協議会と連携を強めて行きたいと考えている。 ⇒県の協議会では神代川周辺を詳細に話し合い、その内容を町の委員会に取り入れて、本委員会に報告するというイメージか。

第8回委員会の様子



2. 前回検討委員会で出された課題対応状況

②H27.12.16 第8回神代川河川再生計画検討委員会での課題及び対応状況

項目	意見を踏まえた課題	対応状況
流下能力 検討結果	<ul style="list-style-type: none"> ・天真名井前の水位低減に向けた河道形状や児童公園前の坂路の削り込み等の検討 ・天真名井前の護岸・河床デザインの検討 ・ケヤキの支柱の移設に関する検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>天真名井よりも上流は、模型実験結果をベースに詳細設計を実施中。</u>※P9 ・今年度、<u>天真名井前の部分拡大模型を作製</u>して、水理模型実験を実施して流下能力の検討を実施予定。 ・上記の部分拡大模型を活用して、護岸・河床デザインとケヤキの支柱の移設に関する検討も実施予定。
護岸・河床	<ul style="list-style-type: none"> ・石積み施工時の留意点（平面的な折れ線を出さない、勾配は一律にしない等）の整理 ・擬岩コンクリートを用いた河床の詳細検討 ・落差工、水制工の詳細検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・石積み施工時の留意点を整理した<u>施工要領図を作成。</u>※P12 ・天真名井よりも上流の<u>護岸は野面石の乱積み、河床は擬岩コンクリート、護岸の前面に護岸高を低く見せるための練石張りを設置</u>することで詳細設計を実施中。※P8、11 ・今後、落差工・水制工の規模や構造等の詳細検討を実施予定。
管理用通路	<ul style="list-style-type: none"> ・管理面を考慮した舗装の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・土系舗装以外の舗装材の<u>サンプルを収集中。</u> ・今年度、<u>複数種類の舗装材で比較検討を実施予定。</u>
樹木	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の変化を感じられる樹木の選定 ・天真名井直下流の橋から見える蛇行部の樹木配置（樹種、粗密）の検討 ・将来巨木として成長する木を想定した樹木配置の検討 ・植樹イベントの検討（苗木の寄付、挿し木イベント等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の協議会（WS）や検討委員会で検討予定。
起工式	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会（WS）や地域住民、高千穂町等からの意見を踏まえた起工式の内容の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・起工式について、<u>地元（荒立神社宮司や本組公民館長等）や高千穂町と打合せを実施。</u>※P13 ・日程・場所・内容は概ね決定し、具体的な企画や当日の運営等について調整中。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・神代川の今後の検討体制の検討 ・河川利用や維持管理について協議会が自発的にやりたいことを考える場の設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・五ヶ瀬川の取り組みを参考にしつつ、県の委員会・協議会と町の委員会の位置付けを明確にした<u>神代川の今後の検討体制案を作成。</u>※P15 ・今年度、各会に参加している住民の方々や高千穂町との意見交換を実施して検討体制を確定させる。 ・まずは、<u>施工見学会や植樹イベント等を対象に、その内容を協議会で自発的に考える場を設定していく予定。</u>

3. 前回検討委員会からの変更内容の報告

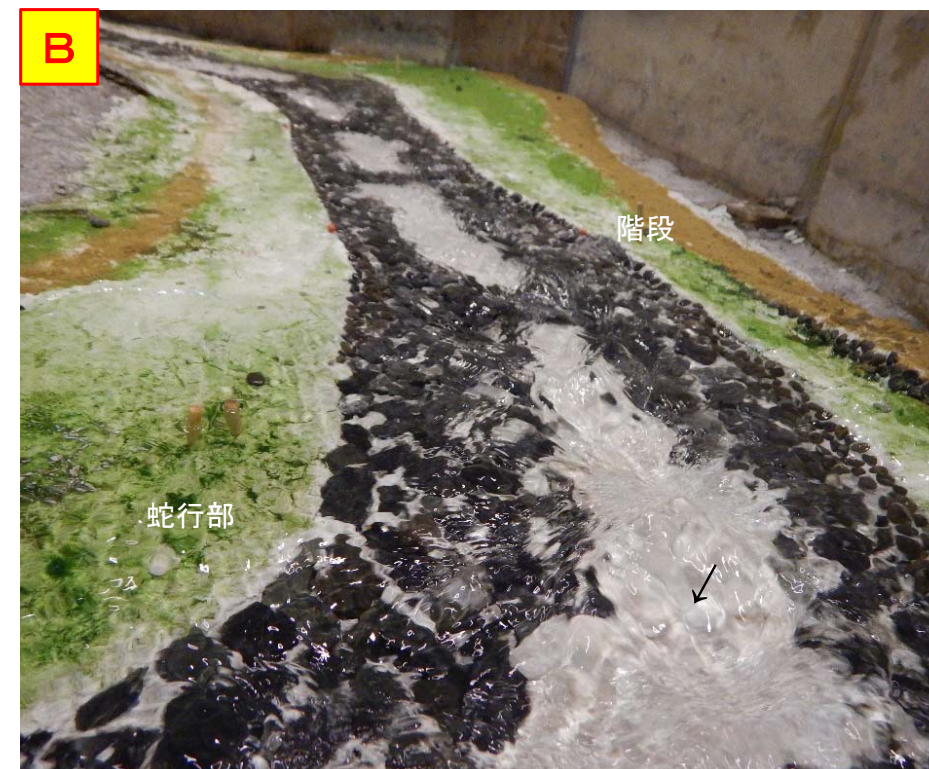
①H27. 12. 16 第8回検討委員会時点の景観模型



3. 前回検討委員会からの変更内容の報告

②H28. 5. 6 模型実験後の水理模型

水位や流速を確認しながら、河道形状や落差工・水制工の配置等を変更しました。

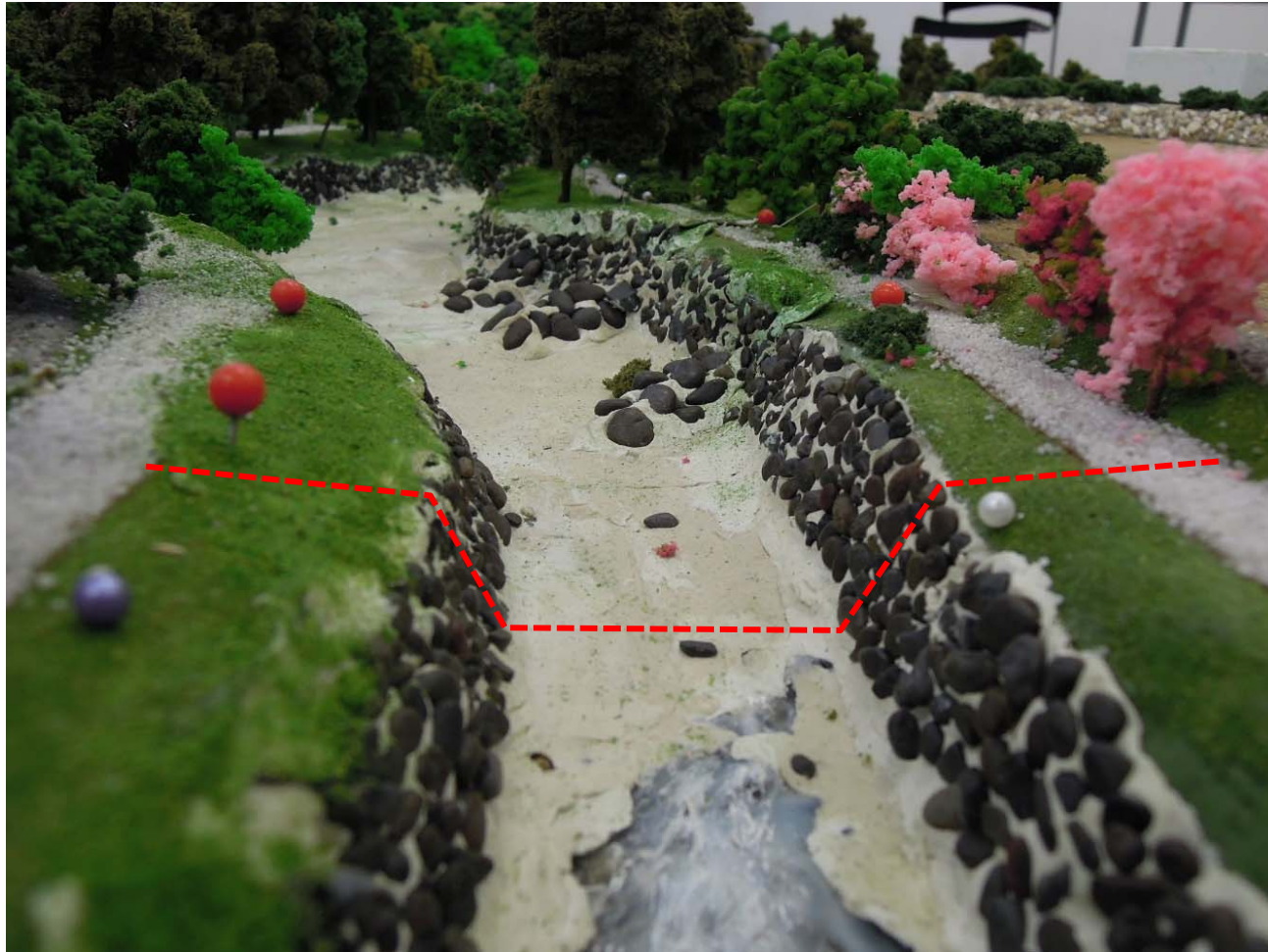


3. 前回検討委員会からの変更内容の報告

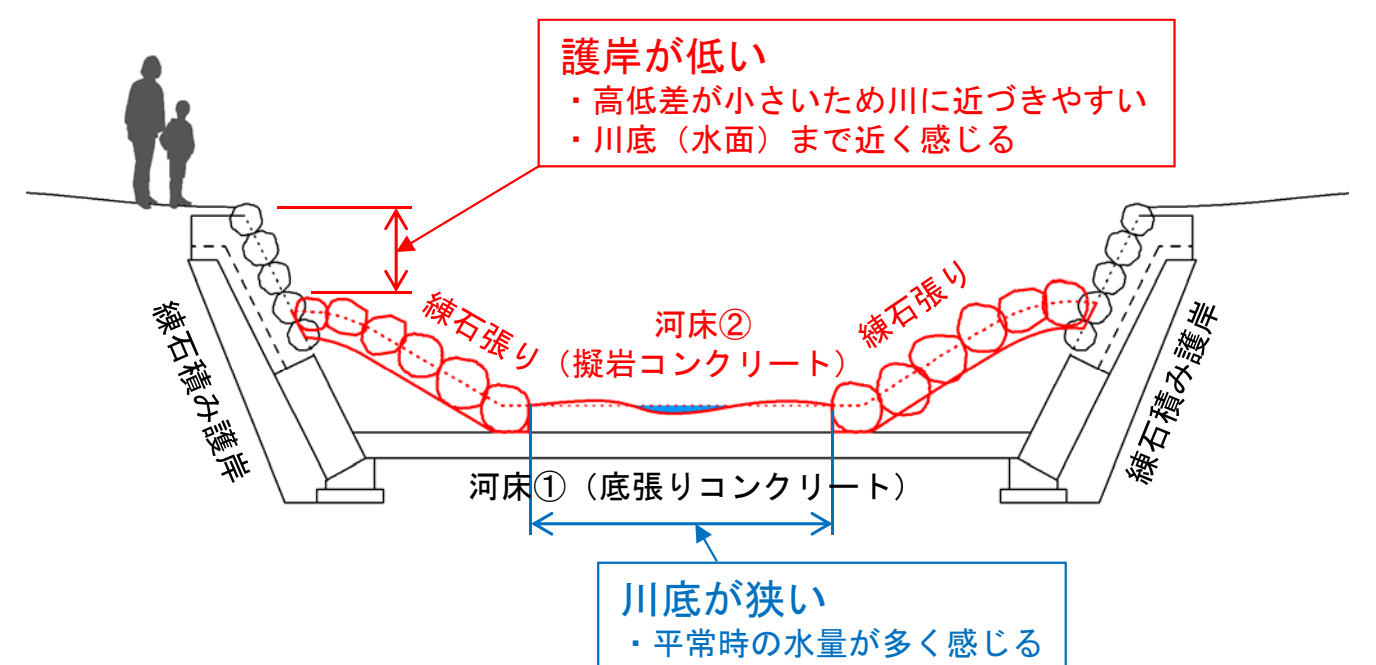
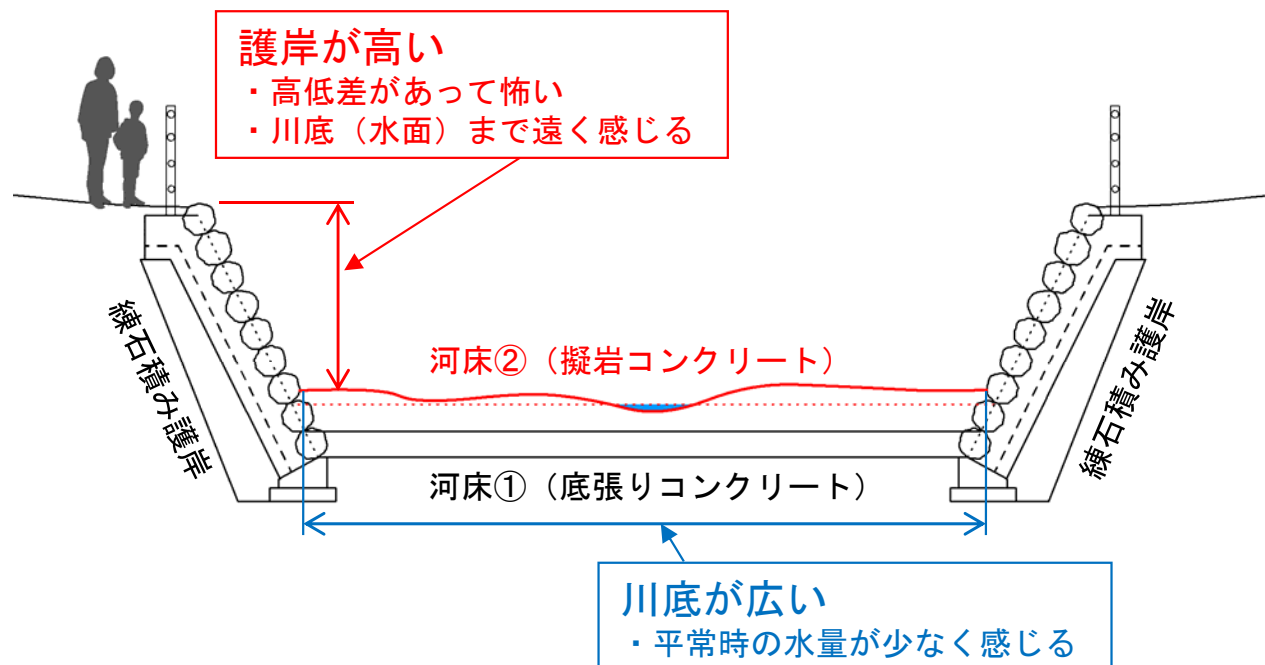
③断面形状の変更

安全性・景観性の観点から護岸と河床の境界に石を張って勾配の急な護岸の高さを低くしました。

【変更前】



【変更後】



5. 今年度実施工事計画の説明

①全体計画

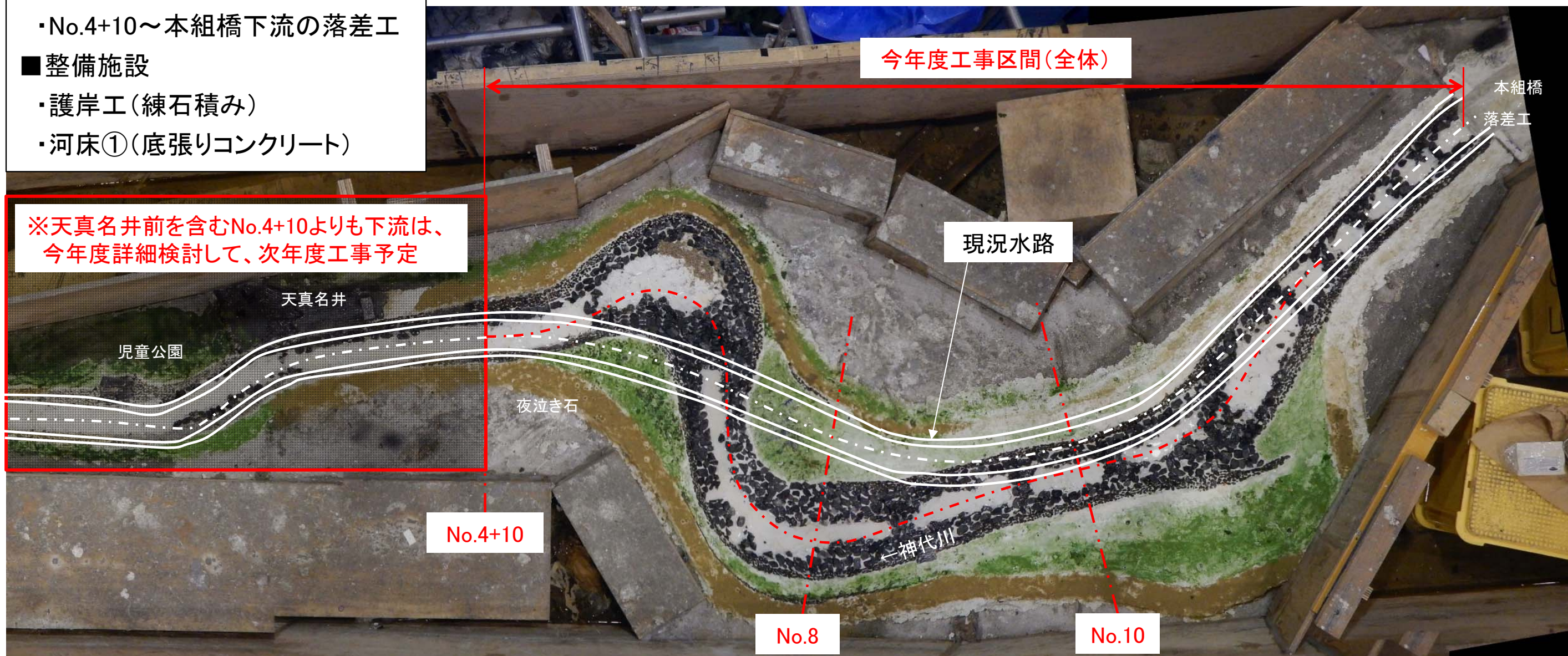
■工事区間

- ・No.4+10～本組橋下流の落差工

■整備施設

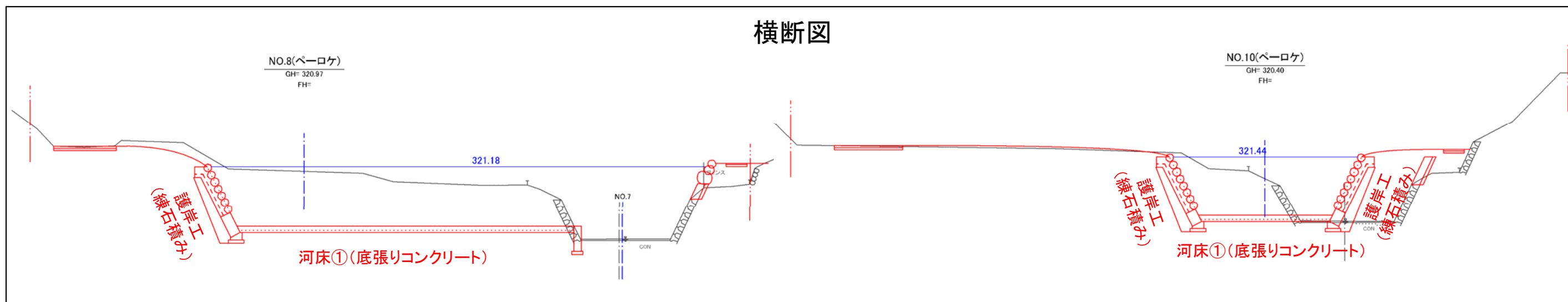
- ・護岸工(練石積み)
- ・河床①(底張りコンクリート)

平面図



※天真名井前を含むNo.4+10よりも下流は、今年度詳細検討して、次年度工事予定

横断図



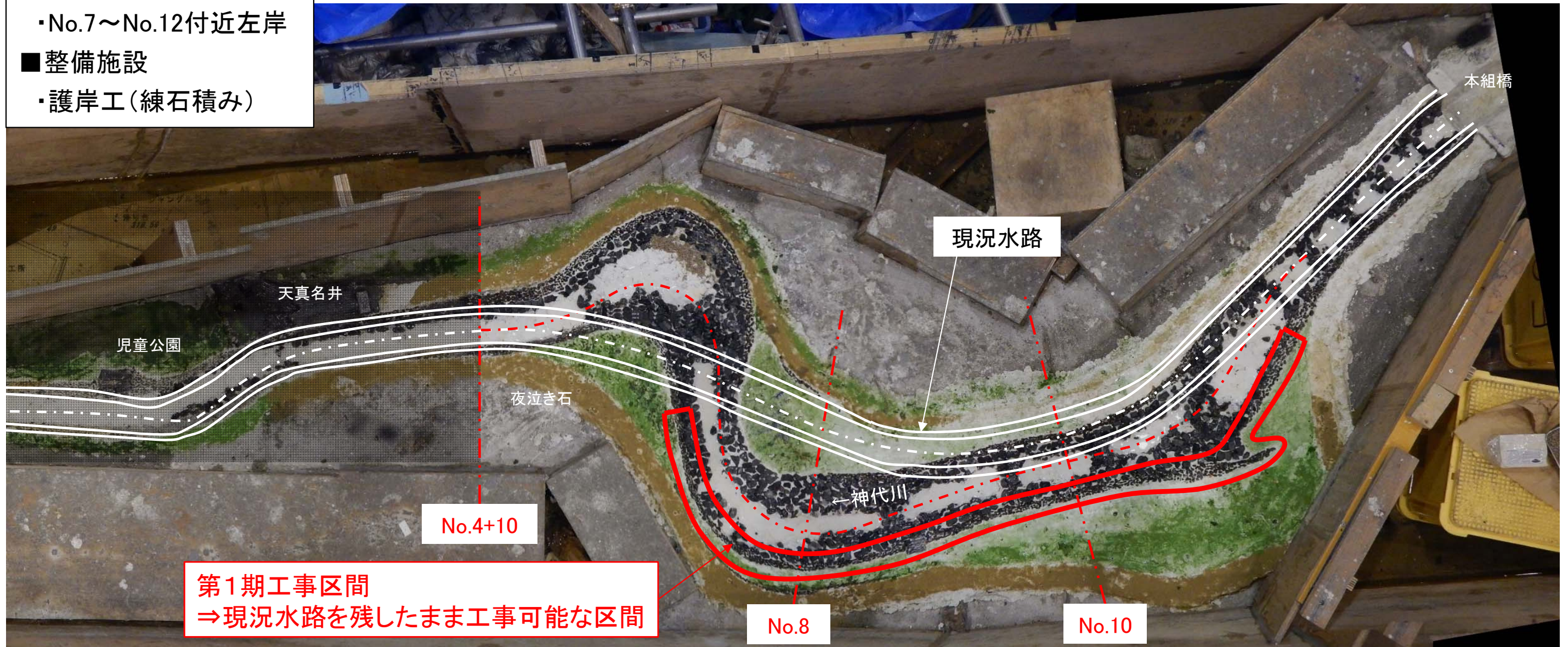
※河床②(擬岩コンクリート)、すりつけ部(練石張り)、落差工・水制工、散策路、植栽等は次年度工事予定

5. 今年度実施工事計画の説明

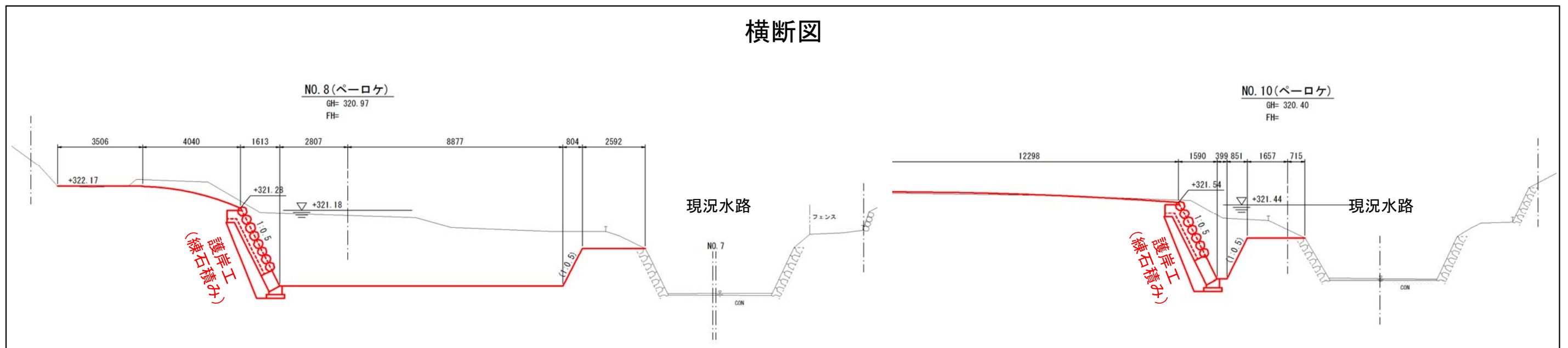
②第1期工事 (H28.7~H28.10)

- 工事区間
 - ・No.7~No.12付近左岸
- 整備施設
 - ・護岸工(練石積み)

平面図



横断面図



5. 今年度実施工事計画の説明

③護岸工の景観デザイン

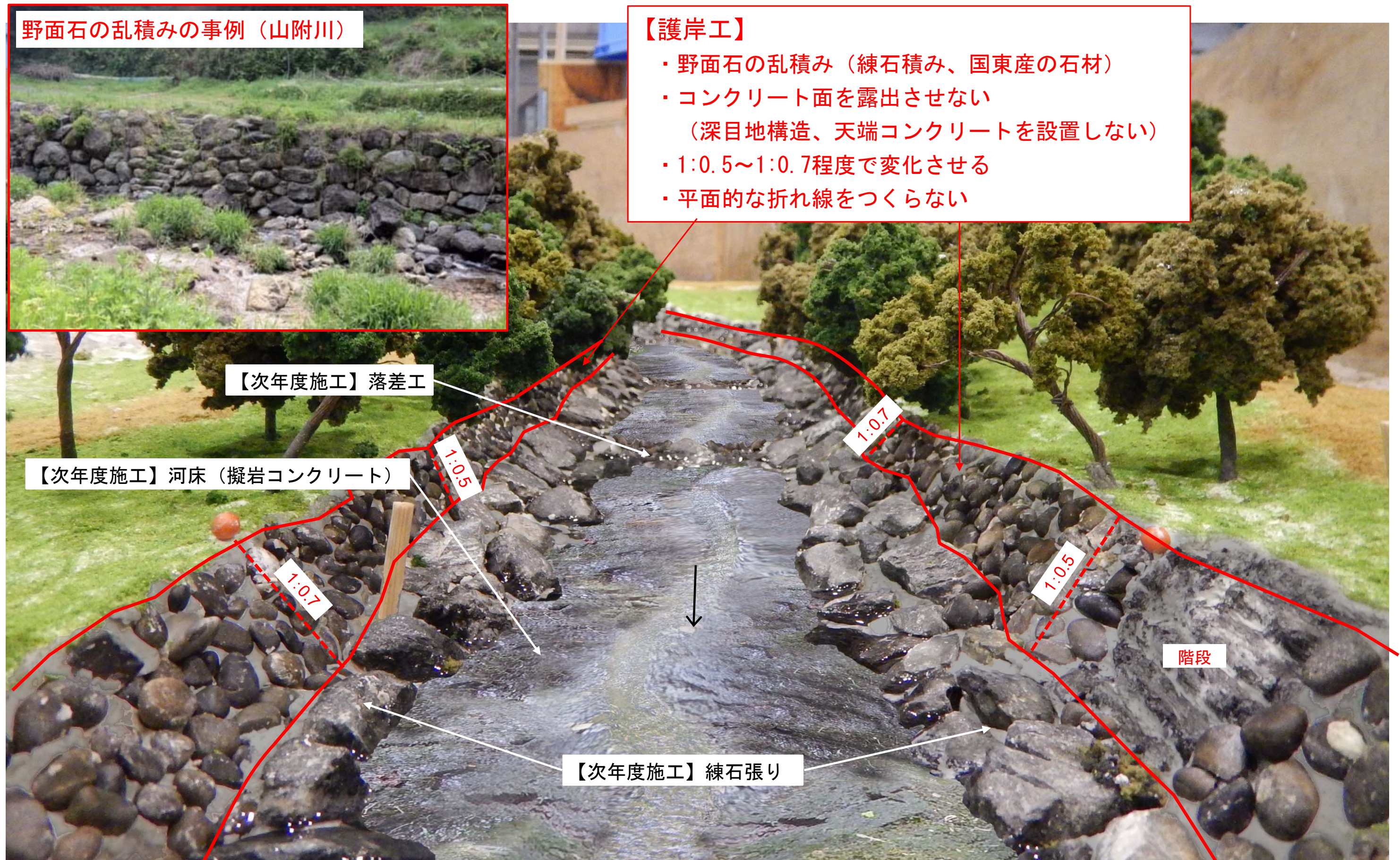
※河床②（擬岩コンクリート）や練石張り、落差工、水制工、散策路、樹木は次年度実施予定

野面石の乱積みの事例（山附川）



【護岸工】

- ・ 野面石の乱積み（練石積み、国東産の石材）
- ・ コンクリート面を露出させない
（深目地構造、天端コンクリートを設置しない）
- ・ 1:0.5~1:0.7程度で変化させる
- ・ 平面的な折れ線をつくらない



5. 今年度実施工事計画の説明

④護岸工（練石積み）施工要領図

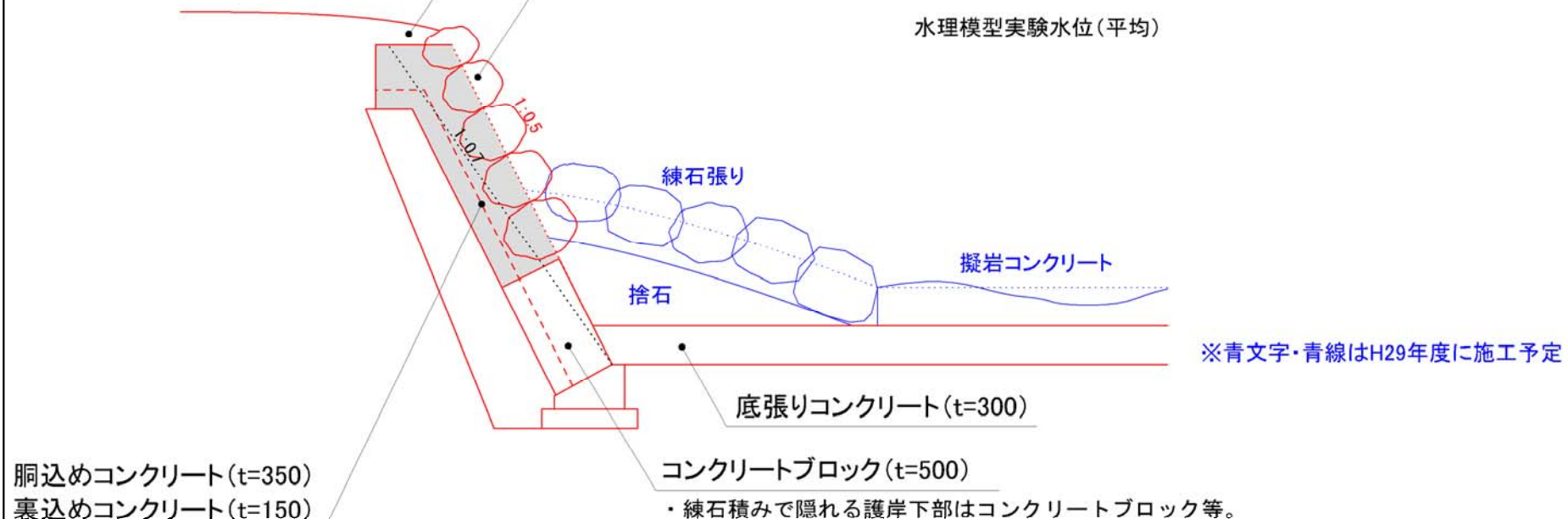
天端処理

- ・天端コンクリートは設置せずに覆土する。（切天端）

練石積み

- ・石のサイズはφ300mm～400mm程度を標準とするが、φ600mm程度の大きな石も織り交ぜる。
- ・基本的には、下から上に向かって大きめの石→小さめの石で積む。
- ・石と石の隙間が小さくなるように、石同士の接地点を多くする。
- ・石同士の接地点は、手前面ではなく、胴込めコンクリートラインを目安とする。
- ・石が表面が上向きになるように積む。
- ・“目”が縦横に通らないようにかみ合せて積む。
- ・石と石の隙間が大きくなった場合は間詰め石をかませる。
- ・基礎を起点に勾配を変化させ（1:0.5～1:0.7程度）、天端の平面・縦断線形にも変化をつける。
- ・平面的な折れ線はつけない。
- ・目地材は柔らかい素材（ダークグレー）を使用して、目地材の両側の石をかみ合せて積む。

水理模型実験水位(平均)

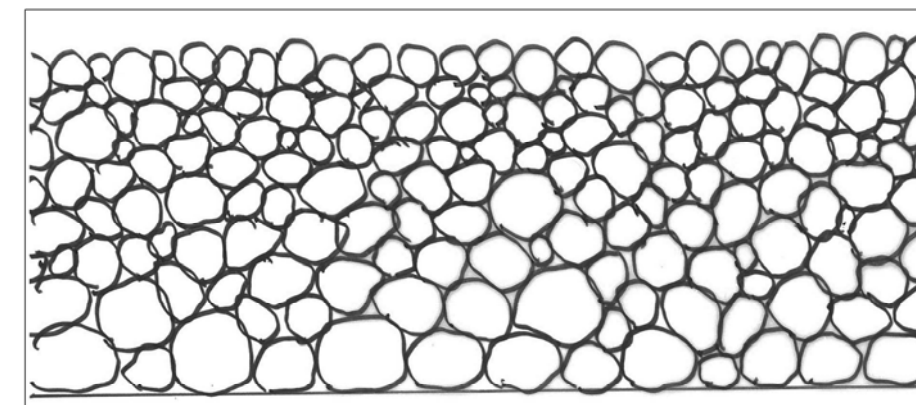


胴込めコンクリート(t=350)
裏込めコンクリート(t=150)

コンクリートブロック(t=500)

・練石積みで隠れる護岸下部はコンクリートブロック等。

- ・石の胴込めコンクリートへの埋め込みは石径の1/2程度とする。（深目地仕上げ）
- ・胴込めコンクリート・裏込めコンクリートに黒色顔料を3%混入する。
- ・端止工・横帯工は、裏込めコンクリート面までとし、表面に露出させない。



○石の積み方に関する参考立面図
⇒下から上に向かって、大きめの石→小さめの石で積む



○石積みの良い積み方例
⇒縦横に“目”が通っておらず、石と石がきちんとかみ合った石積み



×石積みの悪い積み方例
⇒横方向に“目”が通っており、石の積み方に規則性がある人工的な石積み



切天端の施工例(覆土前)



切天端の施工例(竣工後)
⇒植生により天端のラインがぼかされて、柔らかい印象となる

6. 起工式の内容確認と今後のスケジュール

①起工式の内容確認

■第8回ワークショップ（H27.11.25）での意見

- ・高千穂小の児童たちに校歌を斉唱してもらう。
- ・子どもたちに改修前後の姿や工事の様子を観察してもらうことは良い環境学習になる。
- ・かわまちづくりを実施している五ヶ瀬川下流とのイベント交流も考えていきたい。

■第8回委員会（H27.12.16）での意見

- ・景観模型を展示したり、水理実験の映像を流したりして、分かりやすく改修内容を説明

■町役場及び地元との打合せ（H28.3.8）での意見

- ・神事（荒立神社）、神楽奉納（荒立神社）、地元子どもたちによる高千穂小学校の校歌合唱、河川清掃表彰、景観模型の展示
- ・開催場所：天真名井（神事・神楽）、天真名井公園（その他行事）
- ・参加範囲：推進協議会委員、本組地区住民、本組地区こども会、・五ヶ瀬川かわまちづくりの方々

■第9回ワークショップ（H28.3.9）での意見

- ・起工式では、天真名井付近の施工前の現状を見て歩くような見学会をすることが考えられる。

■町役場及び地元との打合せ（H28.6.3）での意見

- ・鍬入れは、第1期工事の整備箇所として予定している神代川の左岸側で行うのが良い。
- ・観光協会に協力を依頼し、うずめちゃんに餅等を配ってもらってはどうか。
- ・かき氷やその場だけのブランドコーヒーを出してはどうか。
- ・高千穂町のまちづくりについても説明するブースを併設してみてもどうか。

■町役場及び地元との打合せ（H28.6.10）での意見

①実施可能

- ・かわまちづくりの内容や景観模型の展示 ・本組公民館女性部に対する河川清掃の表彰

②調整次第で実施可能

- ・高千穂小校歌斉唱 ・うずめちゃんによる餅の配布 ・みやざき犬を呼ぶ ・棒術の披露

③実施不可

- ・かき氷の配布 ・がまだせ踊りの披露 ・水理実験の映像の上映

【参考】起工式後の施工見学会に関する意見

- ・整備後に利用が想定されること（水遊びや散策、ランニング等）を参加者全員でやってみる。
- ・住民の方々と一緒に植樹をするなど、神代川に愛着を持ってもらうようなイベント。
- ・誰もが将来誇ることができるようなイベント（石積に使う石に名前を書く等）はどうか。

【起工式】次第（案）

- ①神事（天真名井前）
- ②鍬入れ（第1期工事範囲）
- ③来賓挨拶（3名程度）
- ④催し物（※調整中：本組公民館女性部に対する河川清掃の表彰、高千穂小児童による校歌斉唱、うずめちゃんによる餅の配布、棒術等）
- ⑤支庁長の挨拶

■上記及び今回協議会や次回委員会での意見等を踏まえ、高千穂町等とも調整の上、起工式の次第を決定

起工式の開催 日時：平成28年7月30日（土）9:00～12:00（予定）、場所：神代川児童公園

6. 起工式の内容確認と今後のスケジュール

②今後のスケジュール

■起工式の内容を決定して、地域住民や高千穂町と協力して式を実施する。

■細部デザイン（石積みの積み方、河床の詳細デザイン、管理用通路の線形・素材、植栽の樹種・配置）について検討する。

今
回

検討会名	実施時期（予定）	内 容
平成28年度 第1回 神代川かわまちづくり推進協議会 （第10回ワークショップ）	平成28年 6月21日	・これまでの検討内容の確認 ・変更内容と模型実験の確認 ・今年度工事計画の確認 ・起工式、今後の検討体制に関する意見交換
第 9 回 神代川河川再生検討委員会	平成28年 7月 4日	・水理模型実験結果の報告 ・今年度実施工事計画の説明 ・今年度工事区間の景観デザインについて ・起工式の内容確認
起工式	平成28年 7月30日	・検討中
平成28年度 第2回 神代川かわまちづくり推進協議会 （第11回ワークショップ）	平成28年 8月 予定	・第9回委員会結果の報告 ・起工式の報告 ・1/100景観模型や実物モデル等による細部デザインの検討
平成28年度 第3回 神代川かわまちづくり推進協議会 （第12回ワークショップ）	平成28年 9月 予定	・1/100景観模型や実物モデル等による細部デザインの検討 ・第1回施工現場見学に関する意見交換
第 1 回 施工見学会	平成28年10月 予定	・未定（石積み等の見学、出席者参加型の簡易イベント 等）
平成28年度 第4回 神代川かわまちづくり推進協議会 （第13回ワークショップ）	平成28年11月 予定	・1/100景観模型や実物モデル等による細部デザインの検討 ・第2回施工現場見学に関する意見交換
第 10回 神代川河川再生検討委員会	平成28年12月 予定	・ワークショップ結果と起工式・施工見学会の報告
第 2 回 施工見学会	平成28年12月 予定	・未定（石積み等の見学、出席者参加型の簡易イベント 等）
平成28年度 第5回 神代川かわまちづくり推進協議会 （第14回ワークショップ）	平成29年 1月 予定	・第10回委員会結果の報告 ・管理用通路・植栽計画の決定 ・第3回施工現場見学に関する意見交換
第 3 回 施工見学会	平成29年 2月 予定	・未定（石積み等の見学、出席者参加型の簡易イベント 等）
平成28年度 第6回 神代川かわまちづくり推進協議会 （第15回ワークショップ）	平成29年 3月 予定	・1年間の総括 ・次年度計画について

7. 今後の検討体制について

①現在の検討体制

神代川河川再生計画検討委員会
(平成23年11月設立)

神代川かわまちづくり推進協議会
(平成26年5月設立)

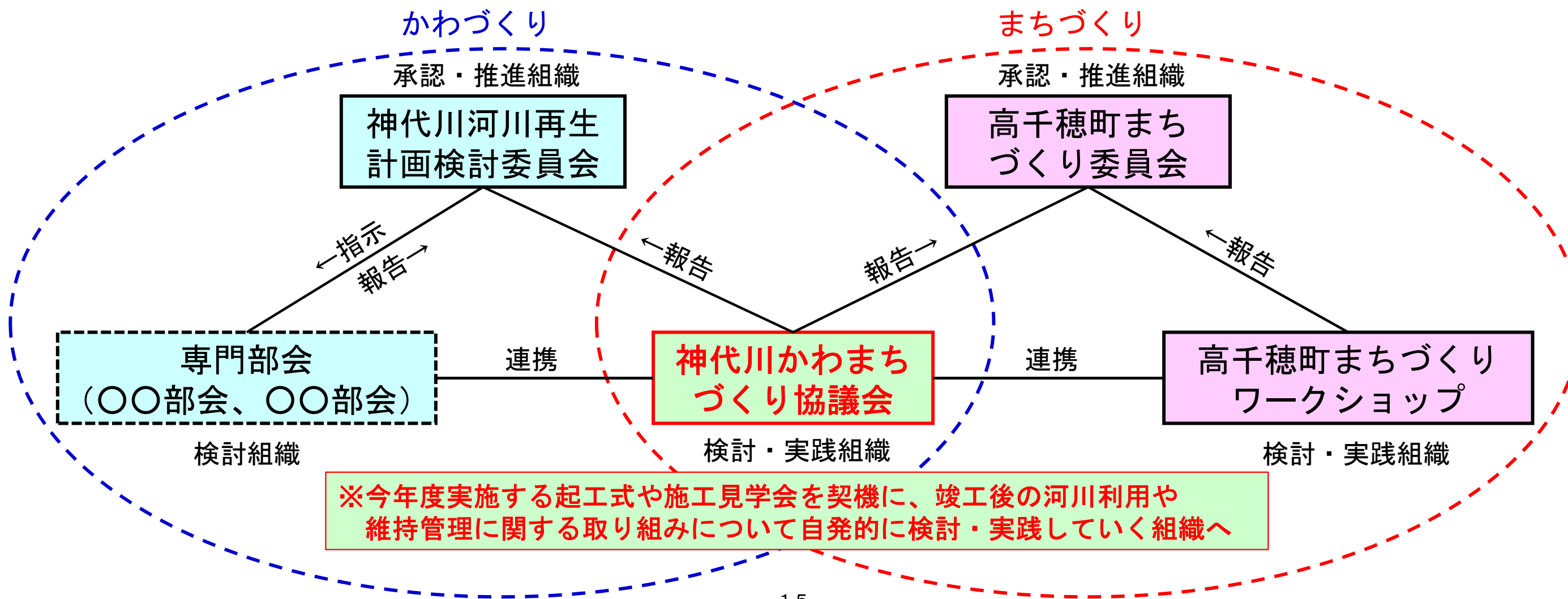
■目的
・神代川河川再生計画を策定するに当たり、幅広い見知から意見を聴取するために、神代川河川再生計画検討委員会を設置する。

■検討事項
(1) 神代川の河川再生に向けた重点課題について
(2) 神代川の望ましい姿について
(3) 神代川河川再生計画案について

■目的
・神代川かわまちづくり計画を推進する上で、幅広い見地から意見を聴取し実施に反映するために、神代川かわまちづくり推進協議会を設置する。

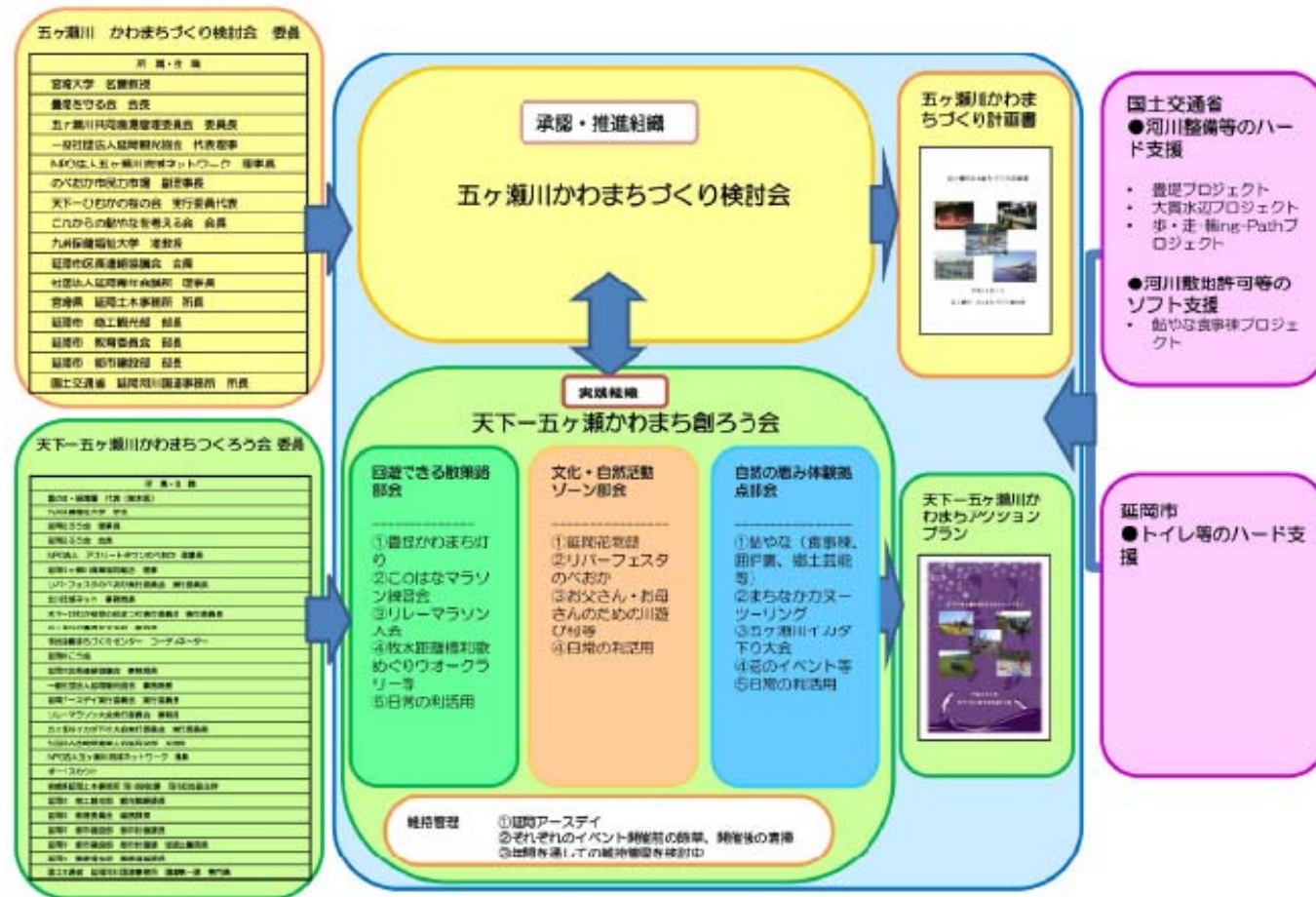
■検討事項
(1) 神代川のかわづくりに係る具体的な実施内容について
(2) 神代川を含む周辺地域のまちづくりに係る具体的な実施内容について
(3) 河川を含む周辺施設整備後の利活用・維持管理について

②今後の検討体制のイメージ



7. 今後の検討体制について

(参考) 『五ヶ瀬川かわまちづくり』の検討体制



(図-1)五ヶ瀬川かわまちづくり検討会



(図-2)天下一五ヶ瀬川かわまち創ろう会

『五ヶ瀬川かわまちづくり』とは

平成24年10月に地域住民、学識者、延岡市、宮崎県、国土交通省の連携のもと、「五ヶ瀬川かわまちづくり検討会」(図-1)が設立され、延岡市の「まちづくり」と五ヶ瀬川の「かわづくり」が一体となり、五ヶ瀬川を軸とした地域の活性化や地域交流の促進、河川空間利用者の安全性の向上など、様々な議論を行い、平成25年1月に「五ヶ瀬川かわまちづくり計画書」を策定しました。

その後、実践組織として「天下一(てんがいち)五ヶ瀬川かわまち創ろう会」(図-2)を設立し、「五ヶ瀬川かわまちづくり計画書」を実践するため、「天下一五ヶ瀬川かわまちアクションプラン」を制定し、それに基づき、整備・利用・管理の方策について具体的な議論を積み重ねています。

■目的

- ①延岡市の「まちづくり」と五ヶ瀬川の「かわづくり」が一体となり、五ヶ瀬川を軸とした地域の活性化や地域交流の促進
- ②河川空間利用者の安全性の向上、にぎわいの創出

■現在までの取り組み

- ①平成24年10月10日「五ヶ瀬川かわまちづくり検討会」で「五ヶ瀬川かわまちづくり計画書」を策定
- ②平成25年1月17日 延岡市長へ「五ヶ瀬川かわまちづくり計画書」を提言
- ③平成25年3月29日 かわまちづくり支援制度に登録
- ④平成25年5月24日「天下一五ヶ瀬川かわまち創ろう会」を発足し、具体的な利活用、維持管理、整備のためのアクションプランを策定を確認
- ⑤整備のために3拠点でプロジェクトを立ち上げ、地域と連携
- ⑥平成26年10月10日「天下一五ヶ瀬川かわまちアクションプラン」の承認、公表
- ⑦今後も「検討会」「創ろう会」は継続開催